

9月次活動報告書

団体名 大網白里子育て支援ネットワーク協議会

目的 エコパーク大網白里こども村 上総堀から広げる「環境を守るこども育成」事業

事業の目的 上総堀りの体験活動を事業の中心に、休耕地利用の作物栽培体験事業、他団体との連携による環境関連の学習、体験活動を通して、未来に向けて「環境保全のできる子ども」を地域に広げる事業を展開する。

ここには事業の目的を固定してください。

もし月ごとの活動目標があれば記述します。

②実施概要

当月	活動名	実施日時	場所	内容	対象者 参加者(人数)
①	上総堀り	9/4 9/15 9/18 9/25	エコパーク子ども村	竹ひご作り7m5本 ひご車組み立て用丸太23本到着、芝山産 ひご車組み板ほぞづくり、塗装、穴掘り ひご車組み立て完成、台風一過 竹ひご作り、細かい作業は合間に実施	4日5人 15日4人 18日8人 25日12人 (大)、4(子)
②	子ども村活動	9/4 9/11 9/18	エコパーク子ども村	毎土曜10:00~15:00 おひさまはらっぱ参加、井戸掘り作業に参加、青空パーカッションに参加、栗拾い 25日は台風で休み、猛暑日が続く 9/20塩作り(大里総合管理)	子ども28人 大人9人
③	休耕地栽培		エコパーク子ども村	猛暑続き、作業はほとんど出来ず、雨が降らないせいか大豆はだめ?落花生、サツマイモに期待	8人
④	青空パーカッション	9/11	エコパーク子ども村	13:00~13:00、板倉音楽事務所と連携。自然の中の音を楽しむ。音楽を通して地域づくりの効果あり。宣伝により大勢の参加があった。シティライフ、千葉日報の取材あり。駐車37台、子ども村内	子ども106人、大人67人
5	その他作業	9/7 9/8 9/10	エコパーク子ども村	青空パーカッション準備作業、竹など楽器づくり、会場草刈りなど	15人
6	打ち合わせ会議	9/2 9/16 9/27	大網白里サポートセンター	大網白里子育て支援ネットワーク協議会活動報告、イベント日程の確認、中間発表について、上総堀り緊急会議。	2日8人 16日6人 27日9人
来月の予定	子ども村活動	10月	子ども村	毎土曜10:00~15:00 休耕地栽培作業、竹林整備、わいわいネッ	50人

				トと共同作業。10月8日、11月6日竹取り（新月）、わいわいネット。いもほり 10月14日青空 YOGA、板倉音楽事務所。	
--	--	--	--	--	--

8 歌い継ごう「わらべうた」のつどい 10月24日（日）13:00～（雨31）
白里わらべうたの会と連携。参加40人予定。広報10月号、チラシ配布

9 上総掘りは中断、体験活動までいけないかもしれない。

10 P.T会議 10/4第5会議、九十九里町学遊館18:30～

11 ECOフェスタ会議 10/10、のぎく

③PR方法

チラシ、ネットなどの方法 例①：チラシ作成 など
町広報、チラシ、知人

④連携・協力関係団体等

例：①→団体名

わいわいネット、自主保育おひさまはらっぱ、白里わらべうたの会、板倉音楽事務所。
井戸掘り隊

⑤成果・課題

成果・効果	事業に取り組んで見えてきた課題
提案書で挙げた現状と課題に取り組めたかなどを記載	
<p>1、 上総掘りはひご車組み立てまでの予定ができた。土曜日以外でも各自時間を作り作業に協力した。</p> <p>2、 青空パーカッションは170名余の参加で成功した。子ども村が認知されていくだろう。プロのミュージシャンのリズムにあわせて子供たちは自分で作った竹の楽器を思い思いに打ち鳴らして楽しんでいた。自然な音の気持ちよさを体験した。</p> <p>3、 休耕地栽培作業は今年は猛暑にやられたが少しでも皆関わり、自然の力を実感した。</p>	<p>1、 中断ではあるが出来るだけ継続させたい。口頭にて説明したい。井戸掘り隊は健在です。</p> <p>2、 イベントを実施することが多くなることを考え、更に管理体制を整えていく必要あり。駐車場、交通の便、保険、安全など。他の団体が子ども村を活用してほしいので緩やかな約束を決めた。人力、体力、金力などで子ども村に今後も関わってもらおう。</p>

	2、
	3、

<成果の客観的データを記入します。例えばアンケートの結果を記入します。>

--

イベント内容などの写真

写真	写真
▲ここにシーンの説明内容を入力します	▲ここにシーンの説明内容を入力します

＜推進委員コメント＞

青空パーカッションの時の参加者数は多くありますが、その時を利用して井戸掘りボランティア、農作業ボランティアなどを広く呼びかけていますか。事前準備作業などは、当日参加して楽しんだ人に呼びかけていくのが効果的だと思います。牧野

担当推進委員 三澤

○青空パーカッションの開催当日は、猛暑炎天下の中、また藪蚊に刺されながら100人からの子どもたちが参加して行われました。3人のアーティストと主催者が用意した孟宗竹を素材に、打楽器の楽しさを優しく解説しながら演奏をしてくれました。子どもたちだけでなく、保護者のみなさんも熱気あふれた空間を楽しむひとときでした。

（教育的効果の達成）

- ①野趣豊かな中で音楽・打楽器のリズム感を得る体験学習と情操教育。
- ②孟宗竹を少し加工しただけで不思議なドラム音をたたき出せることを味合う楽しさ。
- ③親も子どもと一緒にみんなが「わいわいがやがや」孟宗竹ドラムをたたくふれあいの楽しさ。

（実感）

子ども村の存在感をよくよく出していましたね。これからも、立地条件を活かしたイベント開催を期待しています。

○上総堀

足場本体の足場組み立て時は、都合により参加できませんでしたが、翌日、現場にて拝見しました。想像していましたが、大がかりな仕掛けに感嘆しました。ひご巻き車に取り付けるシャフト鋼管も用意されていましたし、用意万端整っている様子でした。

上総堀にも、①つり竿式 ②足踏み式 ③弓式、があるとお聞きしていましたが、本案の該当する方式・特徴等について教えてください。

（課題）

上総堀の進行が解決困難な局面に遭遇していますね。そのため今後における「中断」もあり得ますし、完成は予断を許さない局面にあります。PT 会議にて進捗に関する事情のご説明をお願いいたします。

団体名 **ここに団体名を入力します。**

〒000-000 住所を入力します。

TEL/000-0000-0000 FAX/000-0000-0000

<http://www.abcde.html>

ここに団体ロゴを挿入します